令和６年２月19日（月）
職員朝礼・昼礼資料

令和５年度　第２回学校関係者評価委員会　報告

１　日　時　　令和６年２月15日（木）　15:30～16:45
２　場　所　　本校視聴覚室
３　出席者　　学校関係者評価委員６名，本校職員19名

４　内容
（1）　開会のことば
（2）　校長あいさつ
（3）　本年度の活動状況等について（各課程15分ずつ）
　※学校評価アンケート結果報告も含む
（4）　本校におけるスクールポリシー等について
（5）　質疑・意見交換
＜質問＞
ア　関山委員（鹿児島大学准教授）
　SOSの出し方教育についてどのように実践しているか。
→　（全日制）生徒指導部：学校楽シートやいじめ実態調査等で定期的に把握をしている。
　下大迫教頭：スクールカウンセラーによるSOSの出し方について全生徒対象に講演を行った。
イ　玉利委員（谷山中学校長）
　スクールポリシーの用語等，一般市民が理解しづらい内容と思う。誰もが分かるフレーズにしてほしい。
→　校　長：文科省が定めたものであり，来年度策定に向けて全学校が取り組んでいる。
＜意見＞
ア　関山委員（鹿児島大学准教授）
　SOSの出し方指導は自殺予防教育につながり，子どもに対して十分に啓発する必要がある。
　県内でここまで細やかな指導（聞き合う会・学校説明会等）をしていることはなく，素晴らしいと思う。
イ　今吉委員（鹿児島南署ｽｸｰﾙｻﾎﾟｰﾀｰ）
　学校評価アンケートの結果が良く，嬉しく感じた。開陽高校は生活面も良いと思います。

ウ　玉利委員

　様々な視点からアンケートの分析をし，学校経営に反映してほしい。いかに評価を4の項目を増やすかである。

エ　福徳委員（西谷山コミュニティ協議会長）

　アンケート結果より，生徒が先生を好きという割合が高いことに，心を打たれた。

オ　本村委員（全日制PTA会長）

　入学して良かったという意見が高いのは良かった。しかし，地域に信頼されているという項目が低いのは気になった。

　入試倍率も高く，開陽高校のニーズが高さを感じた。

カ　新田委員（定時制振興会長）

　スクールポリシーにおいて各課程・学科ごとの違いを入れてもいいのではないでしょうか。

キ　牧委員（通信制振興会長）

　都合により欠席

（6）　閉会のことば

5　総評

　生徒・保護者への細かな配慮や支援，また，正しく学校を理解してもらうための学校説明会等，全体として委員の方から励ましのお言葉をいただいた。

　今回はスクールポリシー策定についても質疑していただいた。今後，6月末の県への報告に向けて，職員会議での協議を経て進めていきたい。

　当日は，定時制の学校保健委員会・衛生委員会の終了後ということもあり，タイトな行事日程なったため，委員の方々にたいして会の事前・事後における対応が十分にできず，申し訳なかったため次回の反省としたい。

　最後に事前の資料作成において協力してくださった先生方，また当日，会場設営・撤去にご協力くださった先生方に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。